

平成27年度 年間指導計画
荻窪小学校・久我山小学校 第6学年

荻窪小学校の目指す児童像
「自分を認め、他人を認め自信をもってあきらめずに取り組む子」

久我山小学校の目指す児童像
「自分や友達のよさや大切さを認め、自他を高め合う子」

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営		「自尊感情測定尺度」(1回目)で学級の児童の実態を把握する。 児童相互の関係を把握する。	自分のよさや友達のよさの発見に着目した指導を実施する。 保護者会で子どもの実態を知らせる。		個人面談で子どもについて共通理解を図る。	2学期の指導の方向性を検討する。	保護者会で子どもの実態を知らせる。	「自尊感情測定尺度」(2回目)で学級の児童の実態を把握する。		「自尊感情測定尺度」(3回目)で学級の児童の実態を把握する。	自分らしさを受け止め、中学校への意欲を高める。 この1年間での自分や他者のよさの、伸びや高まりを実感できる指導を実施する。		「自尊感情測定尺度」(4回目)で学級の児童の実態を把握する。
	各教科	《通年》音楽「表現(歌唱・器楽・音楽づくり)」 表現や鑑賞等の幅広い活動を通して、自分の表現のよさや個性に気付かせる。 合唱・合奏学習は、互いの個性を生かしながら協力して音楽を作り上げるよさに気付かしながら、みんなで創り上げられる喜びを共感できるようにする。			音楽「運動会用鼓笛演奏」 最高学年のみの鼓笛隊結成に伴い、取り組もうと決めた楽器の練習に励む。日頃の学習活動の成果を發揮し、友達と協力して取り組むことのよさに気付かせる。				社会「新しい日本、平和な日本へ」 戦後、我が国が、短期間で民主的な国家として出発したことを学び、世界の人々と共に生きていくことの大切さを考えさせる。	社会「わたしたちの生活と政治」 「日本国憲法」 福祉と政治・法律について理解を深めさせる。	国語「海の命」 他者の生き方に学ばせる。 国語「今、私は、ぼくは」 自分の伝えたいことを、自信をもって互いに伝え合わせる。		
学習内容	道徳	親切 友達と協力して助け合う心を養う。	自由と規律 集団生活でのルールやマナーを知ろうとする態度を養う。	思いやり 生命尊重 全ての生命はかけがえのないもので尊重していこうという心情を育てる。		信頼友情、個性伸長 友達のすばらしさを知り、自らも高めていこうという気持ちになる。	郷土愛・愛国心 文化・伝統を大切に、自分の郷土、国を大切にすることを養う。	役割・責任 身近な集団にすすんで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たそうとする心情を養う。		勤労社会奉仕 社会生活を営むために自分のできることから行うという態度を育てる。	公德心 公德心をもって、きまりや規則を守るようにする態度を育てる。	希望・勇気・努力 目標に向かって、希望をもち、やり直そうとする態度を養う。	
	特別活動	学級活動 「最高学年として」 学級目標づくりや、委員会活動、クラブ活動を通して、最高学年としての自覚をもち、学校全体のために働こうとする意欲をもたせ	運動会 表現活動を通して、支え合うことの大切や励ましてくれる人の存在に気付かせる。	さくら草まつり(荻窪) 久我山まつり(久我山) 自分たちでやろうと決めたことは最後まで粘り強く取り組ませる。	《通年》絵手紙活動 絵手紙での交流を通して、自分の行動が人の役に立っていることに気付かせる。	《通年》学芸会 進んで美しいもの・よりよいものを創りだすことに興味をもち、自分の個性を生かそうとする意欲をもたせる。	《通年》学芸発表会 自分が取り組んだ作品を発表する。鑑賞を通して、友達の作品のよさを見付けさせる。		地域清掃、ユニセフ募金 世界や地域などに目を向け貢献意欲を高める。	キャリア教育 ゲストティーチャーを迎え、仕事をすることの意義や達成感について考えさせる。	6年生を送る会 卒業式 卒業生として、在校生や学校、家族に感謝の気持ちをもたせる。	卒業に向けて 6年間の学校生活を振り返りながら、個別の追求課題について計画・実行させる。	人権カレンダー 友達の存在の大切さや、多くの人が関わり生活していることに気付かせる。
指導方法		発表の工夫 考えを書く児童と、別の児童が発表することで友達の考えを理解しようとする態度を育てる。互いの考えを交流し、よりよい解き方を見付けるよう指導する。	学習形態の工夫 グループ学習をすることで、助け合ったり協力し合ったりすることで、友達が支えてくれることや友達の力になれることに気付かせる。互いに励まし合い最後まで諦めずに取り組ませる。	自分の立場を明確にする工夫 「分からない」「できない」ということが言える雰囲気を作り、できることからやってみようという気持ちと成功体験を積み重ねる。自分なりの解き方を説明する。	教え合いの工夫 ミニ先生として苦手な児童にアドバイスする。理解者の存在に気付いたり、貢献意欲を高めたりできる。	問題解決学習(理科、社会、算数、総合的な学習の時間) 予想を立て自分で調べたり、友達の意見をともに考えたりしながら課題を解決していく。	既習事項を生かして課題を解決する 学習のつながりを意識することで、「できるようになった。」「一人できた。」「という自分の努力を評価する。						
	教室環境 言葉掛け	係活動 自分たちで、クラスをよりよくするための活動を考えるように目標や計画を掲示し、活動の場をつくる。	発表の場 帰りの会で日直やクラスの良かったところを伝え、互いのよさを認め合える場をつくる。	保護者との連携 家庭学習計画表を通して、保護者と児童の成長を共有していく。	言葉掛けの工夫 「～はだめ」× 「～しよう」○ プラスの言葉掛けを意識する。	褒め方の工夫 場：個別、全体 伝え方：さっと、じっくり 児童の実態に合わせ、場や伝え方を工夫する。	ノートの掲示 きれいにまとまっているノートや友達のよさを見付けているノートを掲示する。	教室・廊下掲示 学習で学んだことを教室や廊下に掲示することで、一人一人の考えを発信し、学年全体で交流する。	ノート指導 できているところに丸を付け、安心して発表できるようにする。授業の始めに全体で発表し共有する。				

荻窪小学校での取り組み

久我山小学校での取り組み

荻窪小学校・久我山小学校共通の取り組み